

# 磐城時報

八廿夕  
日刊  
福島縣石城郡平町新屋町十四  
印刷所 加納活版所  
印刷 加納活版所  
發行所 磐城時報社  
電話 一〇九〇  
廣告料 一行十文字五拾銭  
月刊(日曜、祭日)休刊

## 滿洲視察演說會

### 聽衆一千名の盛況

#### 住吉屋本店で慰勞會

滿洲方面を視察して歸朝した縣會議員井上茂作、野崎滿藏、在郷軍人分會長藤田榮助三氏の講演會は二十八日午後一時から聚樂館に開催、主催者伏見町長の挨拶があり、三氏の講演があつたが聽衆一千余名で盛會を極めた。終つて住吉屋本店で慰勞の宴を催した。

### 山口技師上京

木津山口技師一行は目下四倉築港の測量中であるが、二十七日農林省と打合せのため上京した。

### 植田署改築協議

植田警察署管内二町八ヶ村消防幹部會は七月二日午前十時から植田署に開き、植田警察署改築の件について打合せをす。

### 安島氏慰安會

郡南有志は過般滿洲方面を視察して歸朝した安島重三郎氏を二十七日午後四時植田町みどり通りに久の二町四ヶ村植田小賣人總會招待し講演を聴き慰勞の宴を催した。

## 石城漁村の窮狀

### 縣五十嵐技手が調査

#### 漁獲物は下落の一途

#### 鯉船は逐年激減

縣商工水産課五十嵐技手は二十七日まで三日間に亘り石城地方漁村の實狀を調査したが、漁村は今不況のどん底にあると胃頭して左の如く語つた。

「漁獲物は逐年下落するばかりで之を示せば」

昭和二年	昭和七年
カツラ 一五〇	三五〇
カツラ 九〇	七〇
カツラ 三五〇	二〇〇

「漁獲物は逐年下落するばかりで之を示せば」

昭和二年	昭和七年
カツラ 一五〇	三五〇
カツラ 九〇	七〇
カツラ 三五〇	二〇〇

## 磐城海岸軌道株式

### 一株一錢で競賣

#### 一株一錢で競賣

磐城郡地方は農村の困窮は勿論圓の立派な會社であり軌道の外石炭の需要減と暴落で極度の不自動車營業を行ひ居るもので、振に脅かされてゐると共に各濱この驚異的安値は餘りにも人々も東京のコレラ騒ぎでこの方面を呆然たらしめてゐる。

の賣行全く無く火の消えた様始末である、等から全般の不況は言語に絶する状態に地方生産物を初め諸株式の暴落甚だしく現に小名濱町に本社を有する磐城海岸軌道株式會社の株券が去る二十五日江名町故中田政吉名儀が平區裁判所で競賣の結果金額五十圓拂込み一株僅か二錢也と言ふ滅茶苦茶の値で競落された驚くべき事實がある、同社は常磐線泉驛より連絡し泉村を起點に小名濱を通じ江名町に至る省線連絡の軌道で資本金二十萬

### 山田村で

#### 教員給不拂

石城郡山田村では村税滞納で財源に窮乏し小學校教員と村吏員の俸給不拂既に三ヶ月に亘り、更に自動車、馬車等で破壊二十二隻の鯉船が今年は十二隻に減じ、四倉は昨年八隻の船が状態に陥つたので村では縣に救済を陳情する方針である。

### 山田村で

#### 教員給不拂

石城郡山田村では村税滞納で財源に窮乏し小學校教員と村吏員の俸給不拂既に三ヶ月に亘り、更に自動車、馬車等で破壊二十二隻の鯉船が今年は十二隻に減じ、四倉は昨年八隻の船が状態に陥つたので村では縣に救済を陳情する方針である。

## 雜貨店で暴れた男

### 暴力行爲で收容さる

既報泉村字小山無職高木藤吉(大黒屋、中野吳服店、三井、仙兵衛)渡邊丑太郎(三三三)佐藤権藏、丸龜、谷屋等を軒並に竹町雜貨商上遠野三吉から湯本本店頭で一圓内外の買物をしては店員の隙を見て脇の下に抱へ込め、その巧妙さは流石の異名にそむかない。

一見病身の田舎婆としか見えぬ物腰なので今まで三四回平署に檢査されたこともあるがその度毎に係官をまんまと欺き放免されてゐたもので、若し時分田舎廻りの旅役者だつたといふだけに變装や聲色に堂に入つたもので、今度は流石に觀念したものが犯罪百數十件を誇らず自白して「これだなんだかサッパリした氣分になりました」

あつさり片付け係官を啞然とさせた。平署では二十九日同人の身柄を平檢事局に送つた。

### 御免橋架替

#### 四倉町堺

川の御免橋は腐朽したので替替る事になつた、工事は工費二千餘圓で平町堀江工業所が請負ひ三十日より着手する筈である。

### 一二歳駒糞市

石城産馬畜産組合の二歳駒糞市は七月四日から六日まで川前村一時から植田警察署に開いた。

### 業者者總會

石城郡植田町業者總會は二十九日午後一時から植田警察署に開いた。

### 四倉竹の子劇

四倉座では下山竹の子一行にて二十八日より開演する。

### 泉生れの男

#### 東京でコレラ

石城郡泉村本谷字堀之内小野正夫(二)は東京市本所區龍澤町二の一五に現住し去る十二日微兵検査のため前記泉村の實家へ歸り即日歸京するや發熱し廿五日本所區三橋病院で診斷の結果眞性コレラと決定したので廿七日發熱は所轄植田署に對し

### 燕のお千代の余罪

#### 更に百余件を自白

「これでさつぱりした」...

飽くまで不敵な彼女

平署に檢査佐久間司法主任の嚴ツツ方の流罪品を前後二十餘回重なる取調に數十件の犯行を自白し既報女賊燕のお千代事森田物外六十余点價格四百三十圓分兵検査のため前記泉村の實家へ歸り即日歸京するや發熱し廿五日本所區三橋病院で診斷の結果眞性コレラと決定したので廿七日發熱は所轄植田署に對し

### 讀者論談

#### 青年諸君へ

(八) 四倉町 吉田松雄

斯ふした自分の問題を靜かに冷かに慎重に思索すると、自ら歩むべき道、志すべき目的、恵まれてゐる特質、求むべき何物か必ず自分の胸中に最も明瞭に浮ぶに相違ない。

若し思索が足らぬと、その人間は常に「昨日は東、今日は西」といふ調子で目的も道も特質も判らぬから、その人間の處世方針は所謂五里霧中を行くが如くである。

才氣換發といふことは十人向のする智慧の廻り方だ、洵に以て結構至極な智慧である。

併し我々青年は兎角才氣換發に調子付いて深慮を欠き失敗することがある。

才氣換發のために身を過つてゐる人間、其の周圍の友人にも其の數決して少くないであらう。石橋を叩いて渡るやうな愚なるものは現代の青年にはない筈であるが、さりとて才氣に任せて突進するも考へものである。此の所の程度を如何にするかを平素に思索し置くべきである。

恭にしても、將棋にしても、玉突にしても結局は慎重に考慮するものが最後の勝利を占めるものであると思ふ。

### 讀者論談

#### 青年諸君へ

(八) 四倉町 吉田松雄

斯ふした自分の問題を靜かに冷かに慎重に思索すると、自ら歩むべき道、志すべき目的、恵まれてゐる特質、求むべき何物か必ず自分の胸中に最も明瞭に浮ぶに相違ない。

若し思索が足らぬと、その人間は常に「昨日は東、今日は西」といふ調子で目的も道も特質も判らぬから、その人間の處世方針は所謂五里霧中を行くが如くである。

才氣換發といふことは十人向のする智慧の廻り方だ、洵に以て結構至極な智慧である。

併し我々青年は兎角才氣換發に調子付いて深慮を欠き失敗することがある。

才氣換發のために身を過つてゐる人間、其の周圍の友人にも其の數決して少くないであらう。石橋を叩いて渡るやうな愚なるものは現代の青年にはない筈であるが、さりとて才氣に任せて突進するも考へものである。此の所の程度を如何にするかを平素に思索し置くべきである。

恭にしても、將棋にしても、玉突にしても結局は慎重に考慮するものが最後の勝利を占めるものであると思ふ。

正夫の立廻り先を調査徹底的防疫に着手した。

### 八十尺の

#### 斷崖から墜落

二歳半 即死

石城郡豊間村大字原町志賀國松所有二歳半は二十九日午前八時頃同村大字薄磯字勝磯地内で崖が崩れ八十尺の高所から墜落頭部を粉碎して即死した。

### 讀者論談

#### 青年諸君へ

(八) 四倉町 吉田松雄

斯ふした自分の問題を靜かに冷かに慎重に思索すると、自ら歩むべき道、志すべき目的、恵まれてゐる特質、求むべき何物か必ず自分の胸中に最も明瞭に浮ぶに相違ない。

若し思索が足らぬと、その人間は常に「昨日は東、今日は西」といふ調子で目的も道も特質も判らぬから、その人間の處世方針は所謂五里霧中を行くが如くである。

才氣換發といふことは十人向のする智慧の廻り方だ、洵に以て結構至極な智慧である。

併し我々青年は兎角才氣換發に調子付いて深慮を欠き失敗することがある。

才氣換發のために身を過つてゐる人間、其の周圍の友人にも其の數決して少くないであらう。石橋を叩いて渡るやうな愚なるものは現代の青年にはない筈であるが、さりとて才氣に任せて突進するも考へものである。此の所の程度を如何にするかを平素に思索し置くべきである。

恭にしても、將棋にしても、玉突にしても結局は慎重に考慮するものが最後の勝利を占めるものであると思ふ。

### 讀者論談

#### 青年諸君へ

(八) 四倉町 吉田松雄

斯ふした自分の問題を靜かに冷かに慎重に思索すると、自ら歩むべき道、志すべき目的、恵まれてゐる特質、求むべき何物か必ず自分の胸中に最も明瞭に浮ぶに相違ない。

若し思索が足らぬと、その人間は常に「昨日は東、今日は西」といふ調子で目的も道も特質も判らぬから、その人間の處世方針は所謂五里霧中を行くが如くである。

才氣換發といふことは十人向のする智慧の廻り方だ、洵に以て結構至極な智慧である。

併し我々青年は兎角才氣換發に調子付いて深慮を欠き失敗することがある。

才氣換發のために身を過つてゐる人間、其の周圍の友人にも其の數決して少くないであらう。石橋を叩いて渡るやうな愚なるものは現代の青年にはない筈であるが、さりとて才氣に任せて突進するも考へものである。此の所の程度を如何にするかを平素に思索し置くべきである。

恭にしても、將棋にしても、玉突にしても結局は慎重に考慮するものが最後の勝利を占めるものであると思ふ。

### 讀者論談

#### 青年諸君へ

(八) 四倉町 吉田松雄

斯ふした自分の問題を靜かに冷かに慎重に思索すると、自ら歩むべき道、志すべき目的、恵まれてゐる特質、求むべき何物か必ず自分の胸中に最も明瞭に浮ぶに相違ない。

若し思索が足らぬと、その人間は常に「昨日は東、今日は西」といふ調子で目的も道も特質も判らぬから、その人間の處世方針は所謂五里霧中を行くが如くである。

才氣換發といふことは十人向のする智慧の廻り方だ、洵に以て結構至極な智慧である。

併し我々青年は兎角才氣換發に調子付いて深慮を欠き失敗することがある。

才氣換發のために身を過つてゐる人間、其の周圍の友人にも其の數決して少くないであらう。石橋を叩いて渡るやうな愚なるものは現代の青年にはない筈であるが、さりとて才氣に任せて突進するも考へものである。此の所の程度を如何にするかを平素に思索し置くべきである。

恭にしても、將棋にしても、玉突にしても結局は慎重に考慮するものが最後の勝利を占めるものであると思ふ。

### 讀者論談

#### 青年諸君へ

(八) 四倉町 吉田松雄

斯ふした自分の問題を靜かに冷かに慎重に思索すると、自ら歩むべき道、志すべき目的、恵まれてゐる特質、求むべき何物か必ず自分の胸中に最も明瞭に浮ぶに相違ない。

若し思索が足らぬと、その人間は常に「昨日は東、今日は西」といふ調子で目的も道も特質も判らぬから、その人間の處世方針は所謂五里霧中を行くが如くである。

才氣換發といふことは十人向のする智慧の廻り方だ、洵に以て結構至極な智慧である。

併し我々青年は兎角才氣換發に調子付いて深慮を欠き失敗することがある。

才氣換發のために身を過つてゐる人間、其の周圍の友人にも其の數決して少くないであらう。石橋を叩いて渡るやうな愚なるものは現代の青年にはない筈であるが、さりとて才氣に任せて突進するも考へものである。此の所の程度を如何にするかを平素に思索し置くべきである。

恭にしても、將棋にしても、玉突にしても結局は慎重に考慮するものが最後の勝利を占めるものであると思ふ。

### 讀者論談

#### 青年諸君へ

(八) 四倉町 吉田松雄

斯ふした自分の問題を靜かに冷かに慎重に思索すると、自ら歩むべき道、志すべき目的、恵まれてゐる特質、求むべき何物か必ず自分の胸中に最も明瞭に浮ぶに相違ない。

若し思索が足らぬと、その人間は常に「昨日は東、今日は西」といふ調子で目的も道も特質も判らぬから、その人間の處世方針は所謂五里霧中を行くが如くである。

才氣換發といふことは十人向のする智慧の廻り方だ、洵に以て結構至極な智慧である。

併し我々青年は兎角才氣換發に調子付いて深慮を欠き失敗することがある。

才氣換發のために身を過つてゐる人間、其の周圍の友人にも其の數決して少くないであらう。石橋を叩いて渡るやうな愚なるものは現代の青年にはない筈であるが、さりとて才氣に任せて突進するも考へものである。此の所の程度を如何にするかを平素に思索し置くべきである。

恭にしても、將棋にしても、玉突にしても結局は慎重に考慮するものが最後の勝利を占めるものであると思ふ。

### 讀者論談

#### 青年諸君へ

(八) 四倉町 吉田松雄

斯ふした自分の問題を靜かに冷かに慎重に思索すると、自ら歩むべき道、志すべき目的、恵まれてゐる特質、求むべき何物か必ず自分の胸中に最も明瞭に浮ぶに相違ない。

若し思索が足らぬと、その人間は常に「昨日は東、今日は西」といふ調子で目的も道も特質も判らぬから、その人間の處世方針は所謂五里霧中を行くが如くである。

才氣換發といふことは十人向のする智慧の廻り方だ、洵に以て結構至極な智慧である。

併し我々青年は兎角才氣換發に調子付いて深慮を欠き失敗することがある。

才氣換發のために身を過つてゐる人間、其の周圍の友人にも其の數決して少くないであらう。石橋を叩いて渡るやうな愚なるものは現代の青年にはない筈であるが、さりとて才氣に任せて突進するも考へものである。此の所の程度を如何にするかを平素に思索し置くべきである。

恭にしても、將棋にしても、玉突にしても結局は慎重に考慮するものが最後の勝利を占めるものであると思ふ。

### 讀者論談

#### 青年諸君へ

(八) 四倉町 吉田松雄

斯ふした自分の問題を靜かに冷かに慎重に思索すると、自ら歩むべき道、志すべき目的、恵まれてゐる特質、求むべき何物か必ず自分の胸中に最も明瞭に浮ぶに相違ない。

若し思索が足らぬと、その人間は常に「昨日は東、今日は西」といふ調子で目的も道も特質も判らぬから、その人間の處世方針は所謂五里霧中を行くが如くである。

才氣換發といふことは十人向のする智慧の廻り方だ、洵に以て結構至極な智慧である。

併し我々青年は兎角才氣換發に調子付いて深慮を欠き失敗することがある。

才氣換發のために身を過つてゐる人間、其の周圍の友人にも其の數決して少くないであらう。石橋を叩いて渡るやうな愚なるものは現代の青年にはない筈であるが、さりとて才氣に任せて突進するも考へものである。此の所の程度を如何にするかを平素に思索し置くべきである。

恭にしても、將棋にしても、玉突にしても結局は慎重に考慮するものが最後の勝利を占めるものであると思ふ。

### ▲常磐炭礦況

常磐地方における群小炭礦は夏枯れと不況とで經營全く困難に陥つた。之が切掛け策として未收の最も多い貨車賣りを廢止し、債詰りによる小口賣炭法を試み、出來得る限り現金の回收につとめる事となつた結果、昨今の平町の如きは五俵三俵とリヤカーに積んで戸毎に御用を聞く連中、非常な賑はつてゐるが、甚だしいのは得意の奪ひ合ひから競争するの好況時代十貫詰り一俵九十錢からした塊炭を僅かに二十錢か十五錢に投げ賣するものもあり、需要家は漁夫の利を占めた形で大よろこびである、斯かる現象は炭礦初まつて以來の事である

### ハガキ集

(投書歓迎)

伏見町長へ  
平町役場吏員は平町内に居住して居る者と各新聞に見た様でしたが、最近の吏員は平町外より通勤して居る者が随分あるやうです、聞いて見ると平町に居住して居ると見せて實家より通つて居るのです。現在平町には數知れない失業業者があります、先程も私が職業紹介所に行つて職を求め様としましたがありません、平町に居住して居る人で失業して居る者がたくさんあるのに、他町村に居住して居る者で平町役場に奉職して居るのでは何時に成つても明るい平町は出來ないと思ひます。その人達は友人や知人等の家に居る事にして通つて居るのです。三四年前に役場員は平町に居住せる者として山崎様等好間の大館より平町に轉住したのであります、亦同代書して居るさうですが、其の人も役場を退職して代書業をして居るさうです、他町村の人が何んで平町の爲めに働かせませう (平町内一愛讀者)

### 坊やのおち



四季を通じて完全母乳代用品  
森  
ドライミル  
地方代理店 關内藥局  
電話四〇番

吾が育児界に誇り得る唯一の國産粉末牛乳で如何に眞夏と雖、長期の保存に堪へお湯さへ加へれば純良、濃厚な色、味香共に勝れし母乳と同じ養養價の新鮮牛乳を得られます。

半ポンド 九〇  
一ポンド 一七〇  
三ポンド 五〇〇

國産粉乳の約八割の賣上を占むる  
ドライは 賣行第一なるが故に!  
品質又第一!

久  
釜屋商店

鼻の薬 チクノール  
平五 山野邊藥局

腸胃 専門 内科  
皮膚病 淋病 婦人病 十二指腸病 胃性病  
松村 院 醫科 (七〇一話電)

印刷物の御注文は  
加納活版所へ  
最新式機械増設  
御名刺、葉書等は  
御待ち中に仕上げます。  
平町字紺屋町  
電話四〇九番

滋養、強壯劑として愈々好評  
偉大なる藥酒 栗守酒  
朝の一盃は精力の原、晩の一盃は睡眠の助力  
栗守酒特約店 大平屋藥店  
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話四六二)

平町山永  
酒山永  
店酒山永  
港七〇二電

オラガビール  
純米酒  
良粕取焼酎  
サイダー各種

### 世界の名湯國立療養所の所在地

### 別府の天然家庭温泉

命の洗濯  
一、温まる事は天然温泉と變りありません  
二、萬病に靈驗的効果のある天下の別府温泉を日常家庭で湯治の出來る重寶な家庭温泉  
一、從來の浴劑を斷然優越せる新發見劑  
一、石鹼の使用は出來る、白粉の伸を良くす、皮膚を美化する理想的浴劑  
疲勞回復 健康増進の鍵  
病魔征服 傳染病豫防の武器  
眞の温泉療法は、若葉の三月から夏に於て最有効な時期です、是非御試用願ひます。  
六回分(二日使用 十二日分) 五十錢  
十四回分(同 廿八日分) 一〇〇圓  
三十四回分(同 二月八日分) 二〇〇圓

命の洗濯代理店 小野屋藥舖  
電話一四四番

### 強力殺虫殺蛆液

ペトリン (うじ殺し藥)  
超強力にして發火の憂なく廉價使用簡易  
▽便所、塵芥箱、床下、下水等に三十倍に溶解して撒布  
平町字四町目  
特約店 小野藥店  
電話百四十四番

### 生花教授

家元龍生派池坊  
生花、盛花、投入、自然  
營業では御座りません趣味で御相手致し度うございます  
華道教授 天水庵 岡田華悦  
平町仲町三